

ピスガからの風

第31号

2012年5月

社会福祉法人 近江ちいろば会

ピスガこうせい 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4

TEL.0748-74-3900 (代表)

FAX.0748-74-3910

http://chiiroba.jp/

介護保険も12年を経過し、平成24年度～26年度の第5期介護保険制度改正では在宅支援、医療・介護連携が強く打ち出されました。

近江ちいろば会は、従来から在宅支援中心のケアを行っている法人です。新しい地域(甲賀市水口町)での展開、そして訪問看護による医療連携を柱にこれからも地域の人々の生活と暮らしを支えていきたいと願っています。

今後ともご支援をお願い申し上げます。



館長
森口 茂

2012年度の方針

3月26日に法人内方針発表会を行い、法人・事業所の方針を職員一同で確認いたしました。スローガン「**価値協創への実践**」職員一丸となって協力して、仕事の価値向上を目指します。

- 具体的には
- * 一事業所一実践活動 (新しい取り組みへ 社会貢献への取り組み)
 - * チーム力向上への取り組み

ちいろばWAY(目指す道)2012

社会福祉法人の使命の遂行

社会、地域における福祉の充実・発展

- ①福祉サービスの供給主体の中心的役割を果たす
- ②さまざまな福祉需要にきめ細かく対応する

1: 集中した資源投下

ある一定の地域に介護事業を集中して、法人の認知度、貢献度を上げる 湖南市 **甲賀市水口町**

2: 在宅でお過ごしいただける支援の充実

ケアハウス、小規模多機能型居宅介護、**訪問看護**、訪問介護、グループホーム、居宅介護、デイサービス

3: 生活支援の充実

食のサービスを通して
配食サービス、**惣菜販売**

4: 継続したイノベーション 一事業所一実践運動の展開

地域貢献・社会参加に取り組む
新しいサービスの取り組みを行う

5: こなんみなくちの連携強化

IT化、TV会議システム活用

チーム力強化に取り組みます。どのレベルのチームに引き上げられるのか各事業所の取り組みに期待です。

チーム強化

「価値協創」を目指しての
チームワークの7段階

レベル	事業所をどのレベルまで上げるか	
プロフェッショナルな関係	7 価値を生む	個人間・組織内の相互作用で新たな価値を創造する関係
	6 協力する	目的実現のため、利害を超えて協力し合う関係
	5 相談する	信頼関係をベースに、課題に対する知恵を出し合う関係
	4 共有する	価値観や知恵を共有し合う関係
ベーシックな関係	3 理解する	お互いの性格や考え方を理解し合っている関係
	2 会話する	日常的な会話ができる関係
	1 認識する	お互いの存在は認識しているが会話はあまりしない関係

(スコラ・コンサルトより)

2012年度 法人内研修・委員会計画

(職員育成カリキュラム、法人内・外の研修は年間計画で行います。)

月	法人全体研修	主任/ 所長研修	業務改善活動	委員会			モーニング の集い	ほほえみネット こなん研修
				安全	感染	給食		
4月	3/26方針発表会					4/3	4/2	
5月			5/15	5/16		5/1	5/1	総会+人権研修
6月	6/7 介護技術①		6/19		6/20	6/5	6/1	
7月			7/17			7/3	7/2	○
8月	8/3 介護技術②		8/21	8/15		8/7	8/1	
9月		9/8、29	9/18		9/19	9/4	9/3	
10月	10/3 介護技術③	10/13、27	10/16			10/2	10/1	○
11月			11/20	11/21		11/6	11/1	
12月	12/5 感染症・人権研修		12/18		12/19	12/4	12/3	
1月						1/8	1/4	○
2月	2/6 リスクマネジメント		2/19発表	2/21		2/5	2/1	
3月					3/21	3/5	3/1	○

基本理念：人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。

私たちはキリスト教の精神に基づいて、高齢者の全生活において、「隣人愛の奉仕」を実施することを基本理念とします。

2011年度の成果

「成長への挑戦」とのスローガンを掲げ、質と量の充実を目指しました。

小規模多機能型居宅介護「ほだいじ みんなの家」の開設と、甲賀市での新しい事業展開(グループホーム・デイサービス・ケアプランセンター)の準備をいたしました。

マインドとしては、OR(どちらか)でなくAND(両立する)という個人と組織、仕事と家庭、利用者と家族の双方が成り立つことを目指しました。

2011年度の成果

1: 事業

- 小規模多機能型居宅介護事業所 ほだいじ みんなの家開設
2011年6月1日
- 甲賀市水口町でグループホームの公募で指定獲得
2011年3月
- 甲賀市水口町でグループホームの改修開始
2011年11月

2: 大規模修繕

- ケアハウスの壁の塗り替え・防水工事実施
2011年11月

3: 新規取り組み

- ヘルパーによる移送事業開始
2011年3月

4: 増収

- ケアハウスの年間満室化
- デイサービスいこい(認知症デイ)の安定した利用者確保
- 小規模多機能 8か月で定員確保へ
- ヘルパーステーションの利用者数増加

5: 施設整備

- ほだいじ みんなの家新築 5月10日引き渡し
- みなくち みんなの家 改修工事開始

6: 採用

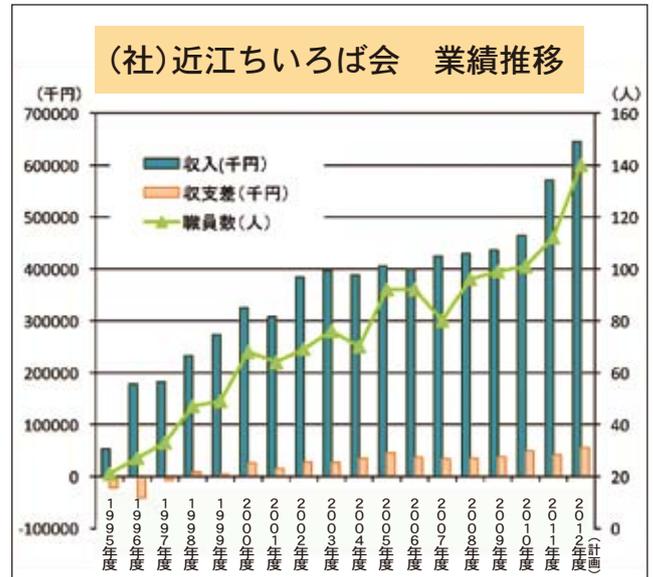
- 2012年4月採用の定期採用者 大卒6名 短大卒1名

7: 研修

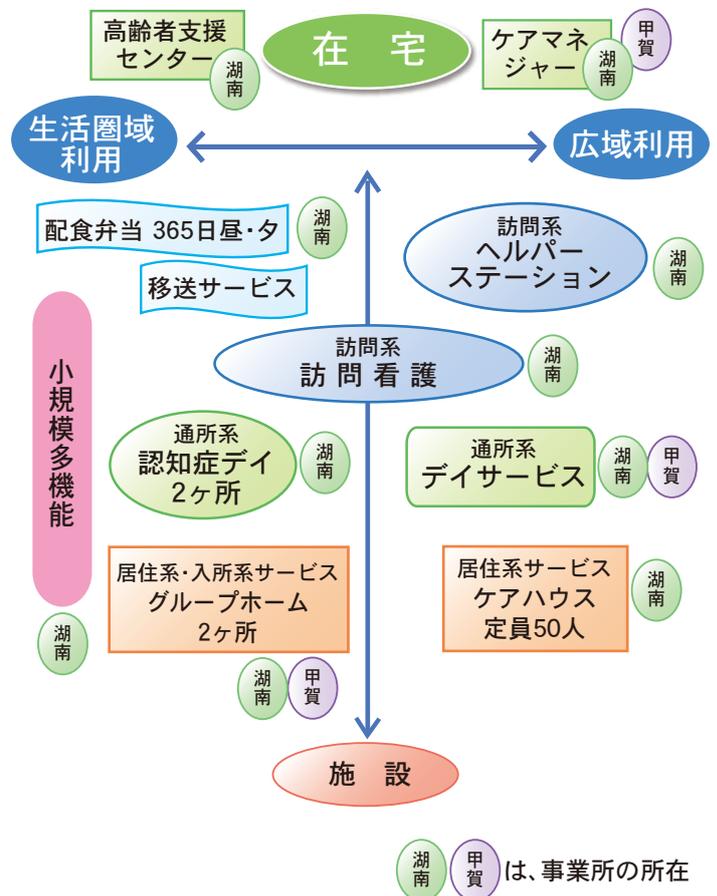
- 業務改善活動 1年かけて取り組み実施8回
- 主任・所長研修 9、10月に2日間で
リスクマネジメントを学ぶ
- 法人内研修 6回実施

8: 対外発表

- 近畿老人施設協議会 研究大会
7月 デイサービスいこい 発表
- 滋賀県老人福祉施設協議会 研究大会
11月 デイサービス虹 発表
- デイサービス研究大会(福山市)
12月 デイサービス虹 発表
- 菩提寺区人権学習会
9月 法人の職員5名で講師
- 岩根学区人権学習
2月 法人の職員4名で講師
- 地域街づくりセミナー
3月 グループホーム
スクールガードの取り組み



近江ちいろば会の事業体系



2012年4月より 新しい事業が始まりました。

みなくち みんなの家 竣工式

竣工式の様子

開催日 2012年3月14日(水)
 開設日 2012年4月～
 住所 滋賀県甲賀市水口町本丸2-54
 事業内容 グループホーム 2ユニット 定員18名
 デイサービス 定員10名
 ケアプランセンター

コンセプト

街の中にある普通の暮らしのできるホーム



奈良 譽夫 理事長



昭和2年築の伝統ある病院を改修しました。
 外観はできるだけ既存の建物の姿を残し、また玄関は地域の人々と
 交流できるように花に囲まれたスペースを確保しました。
 内装は、エコを重視した機能的な造りです。是非一度ご来訪下さい。



みんなの家と本部職員

ぼだいじ訪問看護ステーション開設

開設日 2012年4月1日～

超高齢化社会を急速に迎える日本において、質の高い医療福祉供給体制を整備し、在宅医療の推進を図ることは喫緊の課題であります。

とりわけ、医療と生活の両方の視点から専門的支援を提供する訪問看護は、介護と医療を結ぶ事業として必要性が高いと思われます。

近江ちいろば会は、2012年4月より在宅サービスを強化するために、ぼだいじ訪問看護ステーションを開設いたしましたので、ご活用いただきますようにご案内申し上げます。



メンバーの特徴

3人とも4月に入職して顔を合わせたばかりなので、まずはお互いを知ることからですが、やる気満々の3人です。

スローガン

利用者にも家族にも「家で過ごせて良かった」と言ってもらえるように支援していきたいと思っています。

一事業所一実践活動

第一印象を大切に考え、笑顔で挨拶を行います。

チーム力向上への取り組み

これから作っていく新しい事業所なので、3人それぞれの経験を活かしてひとつひとつ積み重ねていきます。

ケアハウス ピスガこうせい

メンバーの特徴
タフでオールマイティー！
入居者様のことを一番考えて行動しています。



スローガン
「ケアハウス ピスガこうせい」は「わたしにとって我が家になった。」と言われたい。

一事業一実践活動
第一火曜日「整理整頓の日」と定めて施設周りの清掃を行う。

チーム力向上の取り組み
会議やミーティングで上司が問題提議をおこない解決するのではなく、職員全員が自分の事として意見や方針などを発言し、問題解決に協力する。

目指すレベル
問題解決するために職員が協力体制をつくる。

デイサービス 虹

メンバーの特徴
平均年齢が若いチームです。行動力と実行力を最大の武器に、職員の特技を活かし、いろいろなことにチャレンジし続けるチームです。



スローガン
さすが「ほだいじデイサービスセンター虹」は、子どもから大人まで、いろいろな人が集まる憩いの場やなあと言われたい。

一事業一実践活動
デイサービスを菩提寺北小学校、ひかり幼稚園の児童との交流の場とします。

チーム力向上の取り組み
①日々学習する姿勢をもつこと。
②職員間の専門的観点からの意見交換ができるようにすること。(プロ意識)
③互いの仕事を褒めること。
に意識的に取り組み、チーム一丸となってご利用者の生活をサポートしていきます。

デイサービス いこい

～コメント～
今年度は、ご利用者さん、ご家族さん、地域の皆さまから「目標のあるデイサービス」と言われるように取り組んでいきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。



スローガン
みんなは1人のために、1人はみんなのために(One for all, all for one)

事業所一実践活動の取り組み
・月・火曜日は改善DAYとして、業務・サービスの質の改善に取り組む。
・朝の打ち合わせ時に、1日1人ずつ順番に個別援助計画書の読み上げをする。
・朝の打ち合わせ時に、接遇についての目標の読み上げをする。

レベル向上するために取り組むこと
①身体介護技術と医療的な知識、介護保険の制度についての勉強
②組織ケア向上のため、役割分担とパターン化
③レクリエーションの充実、地域化のために、ボランティアの活用

小規模多機能型居宅介護 ほだいじ みんなの家

メンバーの特徴
とにかく前向き、仕事にやりがいを持ち、優しい職員が揃っています。



スローガン
さすが「ほだいじみんなの家」は、「必要な対応がキッチリこなせて、頼りになる事業所だ」と言われたい。

一事業一実践活動
・地元自治会の祭り行事に参加する。
・地域交流会を実施する。
・ボランティアさんの入りやすい事業所にする。

チーム力向上の取り組み
・認知症対応と身体介護、医療に関する勉強会(年6回以上実施)
・定期会議の実施によるホウレンソウの向上(月3回実施)
・他法人の小規模多機能型事業所との職員交流会(年3回実施)の実施により、スタッフの判断力と緊急対応力がある事業所を目指します。

各事業所の 取り組み紹介

グループホーム ほだいじ

メンバーの特徴
年齢層が広いので家庭的な雰囲気が特徴。



スローガン
さすが「グループホームほだいじ」は「笑顔で誠実に対応してくれる信頼できる場所だ」と言われたい。

一事業一実践活動
・百歳体操の実施・継続による体力維持と向上。
・スクールガードの継続と夏休みのラジオ体操への参加。

チーム力向上の取り組み
・言葉遣いを意識する
・与えられた役割に責任をもって取り組み上司までの報告・連絡・相談を徹底する。
・チームの決めた目標を職員の目標とし、決めた目標に対しPDCAを活用する。

目指すところ
チームワークのバランスがとれた自立した組織。

中央デイサービスセンター しんあい

メンバーの特徴
バランスの良い年代構成



スローガン
法人スローガンの共有「価値創出への実践」

一事業一実践活動
積極的に世代間交流の時をもつ

チーム力向上の取り組み
週5日営業から週6日営業(土曜日営業の実施)

ほだいじ ホームヘルパーステーション

メンバーの特徴
湖南市の美人を揃えました。



スローガン
さすが「ほだいじヘルパーステーション」は、「対応が早い」と言われたい。

一事業一実践活動
障害福祉参加させて頂きました。

チーム力向上の取り組み
認知症研修、介護技術、知識を知り得るためのミーティングを行い、全員が同じレベルでご利用者に対応出来るようにがんばります。

法人本部



メンバーの特徴
個性あふれる本部職員が、『介護保険、人事・労務管理、経理・総務業務』において、自覚と責任をもって任務にあたっております。

スローガン
さすが「近江ちいろば会の本部」は、『専門的業務を、基本的に忠実、柔軟にマルチに対応し、テキパキとこなせるエキスパートがそろっているなあ』と言われたい。

ほだいじ 居宅介護支援センター

居宅ケアレンジャーと称して、それぞれの個性を紹介します。



右から、さわやか・素直・元気・礼儀正しい青レンジャー(本郷)。優しい・思慮深い・正義感強い赤レンジャー(今橋)。穏やか・温かい・安心できる桃色レンジャー(村木)。頼れる・誠実・てきぱき行動できる紫レンジャー(渡邊)。4人の力を合わせて地域の介護を担うため、全力投球します。

スローガン
さすが「ほだいじ居宅介護支援センター」は、地域密着度ナンバーワンで頼れるケアマネージャーがいる」と言われたい。

一事業所一実践活動
地域のサロンにも参加して、高齢者の方たちが住み慣れた地域に住み続けるための課題に関して、情報収集をしながら「地域貢献」について考えていきます。

チーム力向上の取り組み
チームの目指すゴール
「自分のことを伝え、相手のことを理解して個々の課題に取り組む」
①事実を客観的にとらえ、困っていることを伝えられる。
②苦手とする知識を積極的に学習する。
③自分に厳しく、人には優しく。

高齢者支援センター

相談援助業務・生きがいデイサービス・配食サービスそれぞれの担当者、計9人が集合している事業所です。世代の幅は大変広く、個人的で人間味豊かなメンバーです。



スローガン
さすが「高齢者支援センターほだいじ」は、「相談して頼りになる」と言われたい。

さすが「るんるんクラブ」は、「いきいきと元気になる場所」と言われたい。
さすが「近江ちいろば会いきいき弁当」は、「お食事の安心を届けてくれる」と言われたい。



一事業所一実践活動
生きがいデイサービス(るんるんクラブ)スタッフによる「介護予防講座」を地域へお知らせし、ご要望があれば出かけていきます。

チーム力向上の取り組み
・レベルの向上を目指すために、定例ミーティングを効率的に行い、職員間連携を図る。
・ご利用者のより良い生活への視点を、お互い意見して語り合える関係になる。

一事業所一実践活動

	合同会議	あいさつ運動
誰が	Who 本部職員が	本部職員が
いつ	When 2ヶ月～3ヶ月に一度	毎月25日
どこで	Where 事務所で	法人施設の玄関入り口で
何を	What ケアハウス職員と合同で	あいさつ(声かけ)をする
どうする	How 会議を持つ	交通安全運動時期には啓発も兼ねて
なぜ	Why 事務所内業務の円滑な遂行のため	快く1日を始められるように

チーム力向上の取り組み
どのような取り組みを行い、どのレベルを目指すのか
☆目指すレベル(5)「相談する」=信頼関係をベースに、課題に対する知恵を出し合う関係
☆取 り 組 み
1: 朝のミーティング内容を変える⇒重要報告事項の連絡
2: 報告・連絡・相談の徹底(一日の業務内容報告書提出)
3: 新会計基準変更や消費税課税に備え会計の学習・共通理解
4: 本部職員一人ひとりの「マンパワーの向上」を図る

みなくち みんなの家

グループホーム

メンバーの特徴
平均年齢34歳と若い元気な仲間です。



スローガン
「水口にできてよかった」と言われる事業所を目指す。

一事業一実践活動
○地域の方と一緒に勉強会を行う
○子供110番の役割を担う
○毎朝玄関前を職員が掃除をして地域の人にあいさつをしながら交流を深める。

チーム力向上の取り組み
①お互いを知るために、できるだけ話をする
②相手の意見をまず聞く
③相手の価値観を否定しない
①、②、③を行い「誰もが意見を出し、話し合うことができるチーム」を目指します。

デイサービス

メンバーの特徴
人が好きな職員が集まり笑顔のたえないチームです。



スローガン
いつ来ても「デイサービスセンターみなくち みんなの家」は、「居心地がよくて、ここで過ごせるのが一番の楽しみだ」と言われたい。

一事業所一実践活動の取り組み
デイサービスセンター みなくち みんなの家では
①夕食のお弁当販売(希望のご利用者様に販売します)
②毎朝玄関前を職員が掃除をして地域の人に挨拶をしながら交流を深める。
③こども110番の役割を担う(送迎車に子供110番のシールを貼る)を取り組みます。

チーム力向上の取り組み
デイサービスセンター みなくち みんなの家では
①毎月定期的にチーム会議を持ち、職員同士がお互いを知るために積極的に関係性を作る。
②毎日のミーティングの最後に1分間スピーチを行い、お互いに一日の振り返りなどを行う。
③相手の話を最後まで聞き、価値観、個性を否定しない。
①、②、③を行い「皆で考え、皆で悩み、笑い共に成長できる職場」を目指します。

ケアプランセンター

メンバーの特徴
児童、障害、高齢等多分野を経験してきたケアマネージャーが「みなくち みんなの家」で



ご家族さま、地域の皆様のご支援、ご相談のお手伝いをいたします。

スローガン
「みなくち みんなの家」全職員が一丸となる。
一事業一実践活動
地域の事業所を訪問し、みなくちみんなの家を広報するという、役目を担う。

チーム力向上の取り組み
毎日手づくりの料理を食べながら、みなくちみんなの家の職員と積極的にコミュニケーションをとる。

定期採用職員が入職しました 2012年4月2日(月)

本年は、「みなくち みんなの家」開設もあり短大・大学卒7名を採用しました。
全員 明るくて素直な若者で、近い将来法人の大きな戦力になるものと期待しています。



「みなくち みんなの家」の採用者です。

資格・経験豊かな職員が集まりました。心強い限りです。



業務改善活動の取り組み成果発表会

日程 2012年2月21日
会場 ケアハウス食堂



業務改善活動とは、職員自らが日常での仕事に改善意識を持ち、仕事に対する問題点・課題を掲げ、QC的問題解決手法であるQCストーリーに則り、問題・課題を解決することによりサービスの質の向上、働きやすい職場づくり、経営改善に取り組むものです。

QCストーリーでは
テーマ選定 → 現状の把握と目標設定 → 活動計画の設定 → 要因の解析 → 対策の立案と実施 → 効果の確認 → 歯止め・標準化 をおこないます。



クラブ活動の紹介

ちいろばランナーズ

3月18日(日) 京都市嵐山で行われました、京都ロードレースマラソン大会に参加しました。

5km5名 ハーフマラソン5名の総勢10名。日頃のトレーニングの成果か、みごと全員完走できました。



後援会より訪問看護ステーションの車2台寄贈いただきました



寄付金・後援会費 感謝報告

2011年12月8日～2012年3月31日現在

2012年4月より、後援会長に評議員の平野 正氏が就任いたしました。後宮俊夫氏には、名誉会長でバックアップしていただきます。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

(順不同・敬称略)

- | | |
|------------|----------|
| 井上 貴 | 平野 正 |
| 岩崎 洋一郎 | 前田 敬子 |
| 後宮 俊夫 | 水口教会 |
| 大門 義和・セイ子 | 水口教会 |
| 草津教会 信愛幼稚園 | 水口こどもの教会 |
| 草津教会 信愛幼稚園 | 三原 好雄 |
| 母の会 バザー委員会 | 三宅 光子 |
| 坂内 敏子 | 村田 わき |
| 菅原 博 | 安野 喜仁・優美 |
| 鈴木 一隆 | 洛西教会 |
| 田中 ミドリ | 脇畑 賢男 |
| 田辺 明子 | |
| 彦根教会 | 匿名3件 |

2011年度 後援会収入 1,187,000円
ありがとうございました

発行日 2012年5月

発行責任者

理事長 奈良 馨 夫
館長 森 口 茂



取り扱い金融機関 郵便局
口座番号 00960-0-109363
社会福祉法人 近江ちいろば会
会費：年額1口 5,000円 (何口でも可)

事業内容

ケアハウス ピスガこうせい/ぼだいじデイサービスセンター/ぼだいじホームヘルパーステーション/ぼだいじ居宅介護支援センター/高齢者支援センターぼだいじ/グループホームぼだいじ/中央デイサービスしんあい/小規模多機能型居宅介護 ぼだいじみんなの家/みなくちみんなの家(グループホーム、デイサービス、ケアプランセンター)/ぼだいじ訪問看護ステーション